

## 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月5日

協議会名: さくら市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
さくらタクシー有限会社	コンタ号・つういんコンタ号 旧喜連川町の全域及び黒須病院(旧氏家町域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の更なる利便性向上のため、AI技術を活用した運行システムを令和7年2月から導入。</li> <li>HPで広報活動を行ったほか、公共交通マップを作成し、鉄道駅や公共施設など市内各施設に設置し、利用促進を図った。</li> <li>夏休みを中心とした小中学生の利用促進のため、市内全小中学生にチラシを配布。</li> <li>利用者の利便性向上のため、LINEを利用したWEB予約の講座を実施。</li> </ul>	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p> <p><b>C</b></p>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コンタ号 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1回当たりの利用に対する公費負担額を1,000円以下</li> <li>・収支率17%以上</li> <li>・サービスに対する満足度: 75%以上。</li> </ul> </li> <li>○つういんコンタ号 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1回当たりの利用に対する公費負担額を2,100円以下</li> <li>・収支率を16%以上</li> <li>・サービスに対する満足度: 75%以上</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コンタ号 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1回当たりの利用に対する公費負担額: 1,798.60円</li> <li>・収支率13.44%</li> <li>・サービスに対する満足度: 47.2%</li> </ul> </li> <li>○つういんコンタ号 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1回当たりの利用に対する公費負担額: 2,273.63円</li> <li>・収支率12.9%</li> <li>・サービスに対する満足度: 44.5%</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【分析】</b></p> <p>いずれの目標も達成できなかった。</p>
有限会社誠タクシー	うのはな号 旧氏家町の全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の更なる利便性向上のため、AI技術を活用した運行システムを令和7年2月から導入。</li> <li>HPで広報活動を行ったほか、公共交通マップを作成し、鉄道駅や公共施設など市内各施設に設置し、利用促進を図った。</li> <li>夏休みを中心とした小中学生の利用促進のため、市内全小中学生にチラシを配布。</li> <li>利用者の利便性向上のため、LINEを利用したWEB予約の講座を実施。</li> </ul>	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p> <p><b>C</b></p>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1回当たりの利用に対する公費負担額を1,500円以下</li> <li>・収支率13%以上</li> <li>・サービスに対する満足度: 60%以上。</li> </ul> <p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1回当たりの利用に対する公費負担額: 2,393.74円</li> <li>・収支率8.54%</li> <li>・サービスに対する満足度: 24.4%</li> </ul> <p><b>【分析】</b></p> <p>いずれの目標も達成できなかつた。</p> <p>AIシステムを導入したことにより、公費負担額が増加し、収支率低下した。また、システム変更以後で、利用者アンケートを実施しているため、満足度が反映されない。</p>

## 事業実施と地域公共交通計画との関連について

令和8年1月5日

協議会名:	さくら市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>市内の旧町間・市外の近隣市町間を運行する民間の路線バスを地域間幹線バス系統として位置づけ、その路線に接続する地域内フィーダー系統として2つのデマンド交通事業(氏家地区デマンド交通・喜連川地区デマンド交通)を実施している。</p> <p>地域の持つ特性・実情に合ったサービス(デマンド・区域運行)を実施・維持することで、交通空白地域が解消され、自家用車等の交通手段を持たない交通弱者の移動手段が確保される。</p>

# 令和7年度 さくら市地域公共交通活性化協議会（栃木県さくら市） (地域内フィーダー系統確保維持事業)

## 地域の公共交通等の現況・課題／補助対象系統の位置付け

本市は、旧氏家市域内に位置するJR氏家駅を中心としたエリアと、旧喜連川市域内に位置する市役所喜連川支所周辺のエリアという2つの市街地とその周辺の集落部分からなる都市構造を有している。そのため、市街地間の移動や集落部から各市街地までの移動に関して、公共交通の整備が必要になる。

市内の公共交通は、関東自動車による路線バスがJR氏家駅を起点に、最長で隣接する那珂川町まで運行しており、主に氏家・喜連川の地区間輸送を担っている。また、地区内輸送として、氏家地区、喜連川地区それぞれを運行区域にしてデマンド型の乗合タクシーを運行することで、公共交通空白地域の解消を実現しており、令和7年2月からデマンド交通にAIシステムを導入し、より効率的な運行を目指している。

しかしコロナ禍により公共交通の利用者数は大きく減少し、特に路線バスの乗車人員数は、現在も改善しきっていない。また、待ち時間の解消や増便等、利用者の要望が年々、強くなっている。



## 補助対象系統の需要・現況・課題／活用したデータ

当該系統は、市内路線バス停留所への移動手段の確保と、日常的な買い物・通院のための移動手段の確保を目的として運行している。特に喜連川地域には、鉄道、主要医療施設、大型ショッピングモールがないことから、喜連川地域とそれらの施設を繋ぐ路線の運行を開始し、日常生活における地域内の移動手段の確保としての役割になっている。また、令和6年度には、AIデマンド交通を導入し、市民の利便性の向上、及びデマンド交通の乗合率の向上に努めた。しかし、利用者からの利便性の向上の声がある一方で、新規利用者が伸び悩んでおり、デマンド交通の周知や、使い方の説明等を行う必要がある。

活用しているデータ: デマンド交通の利用者数、デマンド交通利用者へのアンケート、市内バス路線の利用者数等

## 定量的な目標

【うのはな号】(氏家地区デマンド交通3号車)

①利用者1人/1回公費負担額1,500円以下、②収支率13%以上、③サービスに対する満足度60%以上

【コンタ号】(喜連川地区デマンド交通1号車)

①利用者1人/1回公費負担額1,000円以下、②収支率17%以上、③サービスに対する満足度75%以上

【つういんコンタ号】(喜連川地区デマンド交通2号車)

①利用者1人/1回公費負担額2,100円以下、②収支率16%以上、③サービスに対する満足度75%以上

## 目標を達成するために行う事業の今年度実施状況／来年度に向けた取組の検討

【コンタ号・つういんコンタ号】  
(喜連川地区デマンド交通(1号車・2号車))  
・HP・公共交通マップ・市民向けイベント出展・市内全小中学校へのチラシ配布による広報活動を実施した。

【うのはな号】  
(氏家地区デマンド交通(3号車))  
・HP・公共交通マップ・市民向けイベント出展・市内全小中学校へのチラシ配布による広報活動を実施した。

【福祉タクシー事業】  
・身体障がい者または65歳以上等の要件に当てはまる対象者に、1枚あたり500円分(65歳~74歳:1人あたり1ヶ月6枚、年間72枚。  
75歳以上:1人あたり1ヶ月8枚、年間96枚。)のタクシー利用券を交付した。

【観光温泉バス】  
・JR氏家駅から市内の温泉施設を往復する無料バスを運行した。

【高齢者運転免許証自主返納支援事業】  
・満65歳以上の方で運転免許証を自主返納された方へ、1人あたりタクシー利用券1万5千円分を支給した。

【スクールバス】  
・喜連川地区的通学に不便な地域に住む小学生を対象に、登下校送迎バスを運行した。

【来年度に向けた取り組みの検討】  
・AIデマンド交通の周知・WEB予約説明会の開催  
・市内公共交通におけるキャッシュレス決済の導入の検討  
・氏家地区指定乗降所に「さくら市役所」を追加

## アピールポイント

【喜連川地区デマンド交通】令和7年2月より運行開始(前身となるコンタ号は平成22年度、つういんコンタ号は平成31年度に運行を開始。)。AIシステムを導入しWEB予約対応や効率的な予約・運行ルートの提示が行われている。また、両号のサービスを一本化し、喜連川地区全域及び氏家地区的指定乗降所(黒須病院・氏家駅・イオンタウンさくらイオンタウンさくら)での運行を行っている。

【氏家地区デマンド交通】令和7年2月より運行開始。(前身となるうのはな号は平成25年度に運行を開始)。AIシステムを導入しWEB予約対応や効率的な予約・運行ルートの提示が行われている。運行区域は氏家地区全域。

【全路線】乗合タクシーから幹線系統である路線バスに乗り継ぐ場合は、路線バスの運賃に充てられる乗継券を交付。

面 積	125.63 km <sup>2</sup>
人口 (R7.4.1時点)	43,560人
15歳未満	5,481人
65歳以上	12,015人
高 齡 化 率	27.58 %

## 交通計画の計画期間

令和6年4月～令和11年3月

## 協議会開催状況

(令和7事業年度に係るもの)

○協議会の開催状況 2回開催

【第1回(令和7年6月12日)】

・令和8年度地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について

・さくら市AIオンデマンド交通システムの運行状況について

・さくら市地域公共交通計画の進捗状況

【第2回(令和7年1月)】※書面開催

・令和7年度デマンド交通事業の事業評価について

・さくら市地域公共交通計画の進捗状況について

・喜連川地区デマンド交通の事業計画の変更について

# さくら市 のりものガイド

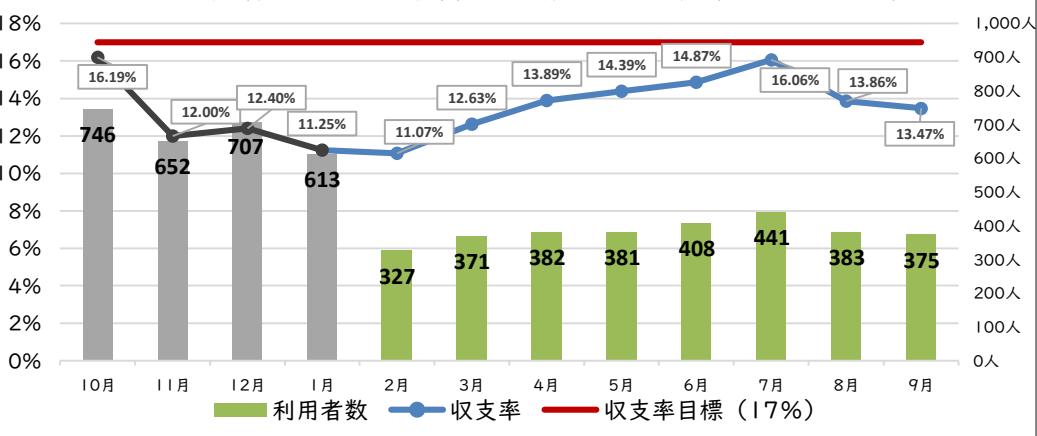
(令和7年6月時点 作成)



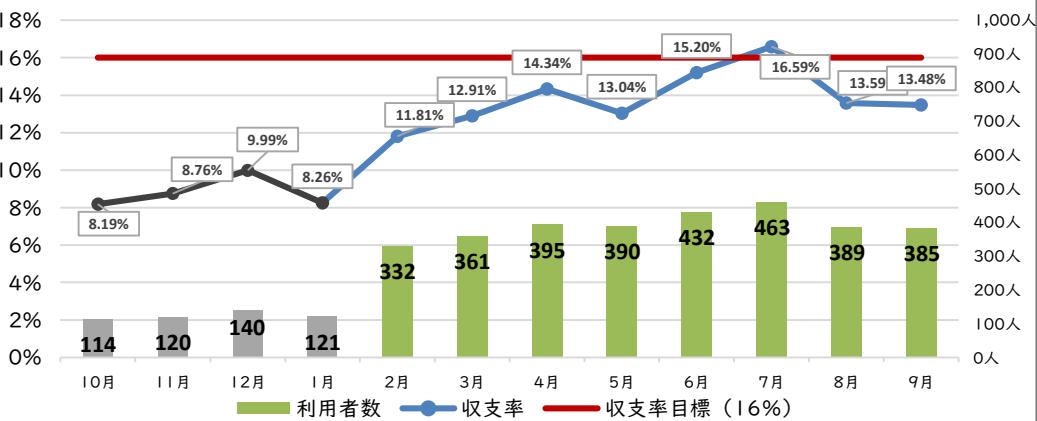
令和7年2月よりAIシステムを導入したため、グラフの数値は次のとおり。

【令和6年10月～令和7年1月】  
 コンタ号・つういんコンタ号・うのはな号  
 【令和7年2月～9月】  
 喜連川地区 (1・2号車)・氏家地区 (3号車)

## コンタ号 (喜連川地区1号車) 利用者数・収支率 (R6.10～R7.9)



## つういんコンタ号 (喜連川地区2号車) 利用者数・収支率 (R6.10～R7.9)



## うのはな号 (氏家地区3号車) 利用者数・収支率 (R6.10～R7.9)

